

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 3 区分

【発行日】平成 18 年 12 月 14 日 (2006.12.14)

【公表番号】特表 2002-532267(P2002-532267A)

【公表日】平成 14 年 10 月 2 日 (2002.10.2)

【出願番号】特願 2000-587933(P2000-587933)

【国際特許分類】

B 2 5 C 1/14 (2006.01)

【F I】

B 2 5 C 1/14

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 10 月 13 日 (2006.10.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 基盤に留め具を打ち込むための動力駆動式工具であって：

ハウジングと；

第一前方位置と第一後方位置との間で前記ハウジングに対して軸方向移動するために前記ハウジングに取り付けられた外筒と；

第二前方位置と第二後方位置との間で前記外筒内部において軸方向に可動なピストンと；

前記外筒と前記ピストンとに接続しているリセット装置であって、前記第一前方位置から前記第一後方位置への前記外筒のコッキング移動に応答して前記ピストンを前記第二前方位置から前記第二後方位置へ自動的にリセットするようになっているリセット装置と；
を具備する動力駆動式工具。

【請求項 2】 前記第一前方位置と前記第一後方位置との間の軸方向距離が、前記第二前方位置と前記第二後方位置との間の軸方向距離よりも短かい、請求項 1 に記載の動力駆動式工具。

【請求項 3】 前記リセット装置が接続要素と把持要素とを具備していて：

前記接続要素は、前記ピストン及び前記外筒に取り付けられたそれぞれ第一部分と第二部分とを有しており；

前記把持要素は、前記接続要素の前記第一部分に係合可能に係合して、前記把持要素は、前記接続要素の前記第一部分に係合するべく形成されており、前記第一前方位置から前記第一後方位置への前記外筒のコッキング移動中に前記ピストンを前記第二前方位置に把持し、そして前記第一後方位置への前記外筒の到達時に接続要素の前記第一部分、従って前記ピストンを開放するようになっている、

請求項 1 に記載の動力駆動式工具。

【請求項 4】 前記接続要素の前記第二部分は前記外筒に固定されていて、前記外筒のコッキング移動時に前記外筒と共に移動するようになっている、そして、前記コッキング移動時に前記第二部分が前記第一部分から離間してゆくに従って蓄積されるポテンシャルエネルギーは、前記接続要素により開放され、前記ピストンを前記第二前方位置から前記第二後方位置へ後方に駆動するようになっている、請求項 1 に記載の動力駆動式工具。

【請求項 5】 前記接続要素がばねである、請求項 4 に記載の動力駆動式工具。

【請求項 6】 前記把持要素が前記外筒の壁面に形成されたスロットを貫通して延伸していて、前記外筒の前記コッキング移動中に前記第一部分に係合するようになっている

、前記スロットが係合解除部材を有していて、前記係合解除部材は、前記外筒が前記第一後方位置に到達した場合把持要素に達するべく形成され、かつ前記把持要素を前記第一部分から係合解除、従って前記ピストンを解放するべく形成されている、請求項 4 に記載の動力駆動式工具。